

急病センターを受診する患者さんへ（小児用）

ご自宅などで具合が悪くなり病院を受診した方が良いのかどうか迷うことがあるかもしれません。受診について緊急性があるかどうか、どのようにご自宅で様子を見たら良いか、参考にされて下さい。

小児救急電話相談（#8000）は平日：午後7時～翌朝8時 土日・祝日・年末年始：24時間対応で相談可能です。小児科学会監修のウェブサイト「こどもの救急（online-QQ）」もぜひご活用ください。

このような症状であればまずは経過を見ましょう

- 食欲はないが果物やゼリーなどが少量ずつでも食べられる
- 水分を少量ずつ摂取できる（尿は6時間以内の間隔ですでている。）
- 2～3日前から持続している症状（突然はじまった痛みや症状ではない）
- 高熱でもある程度の活気がある



対処法

外出をさげ、体を休めてください。常温の経口補水液やお茶・お水などの水分をこまめに飲ませてください。軽い痛みや発熱で不快感がある場合は、お近くの薬局で市販の解熱剤などを服用してください。症状の改善がなければ、平日日中にクリニックや診療所を受診されてください。

*症状の軽い風邪であれば安静を保ちご自宅で様子をみてください。風邪の原因はウイルスであり、ウイルスには抗生物質は効果がありません。水分がほとんどとれず尿が数時間以上出ない、嘔吐が続くなどの症状があれば救急病院を受診しましょう。

このような症状があれば救急車（119番）を呼びましょう

- 意識がない（返事がない）、意識がおかしい
- けいれんが続いている
- ぐったりしてくちびるの色や顔色が悪い
- 頭を強くぶつけ血が止まらない
- 痛みがやわらぐことのない激しい腹痛
- 嘔吐が止まらない（噴水のような嘔吐）
- 激しい咳やゼーゼーなど呼吸が苦しそう
- ものを喉につまらせ呼吸が苦しそう
- アレルギーでじんま疹だけでなく、咳こみや激しい腹痛がある
- 広範囲のやけど
- 高いところから落ちた
- おぼれたなど



「こどもの救急（online-QQ）」（<http://www.kodomo-qq.jp/>）は、救急受診を迷ったときにとっても使いやすいウェブサイトです。ぜひ一度ご覧ください。